

令和5年4月1日

笠岡市長 殿

所在地 笠岡市高島5039-1

協議会名 高島まちづくり協議会

協議会長名 会長 妹尾 利雄

まちづくり計画策定状況： ○ 策定済み ● 未策定

令和5年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 1,489,000 円

〔内訳〕

（単位：円）

活動No (優先順位)	活動名	インフラ上 限加算対象	申請額
1	回漕店運営事業		972,000
2	婆一ちやるショップ運営事業	○	157,000
3	定期便減便対策事業	○	360,000
			0
			0
			0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書（様式第15号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書（様式第16号）
- (3) まちづくり計画（地域計画）などの計画書類（既に策定済みの地域のみ）
- (4) その他参考となる書類

様式第15号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	回漕店運営事業

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	島民の生活基盤である定期船航路を維持する為、定期船発着の安全管理、切符の販売や荷物の集荷、乗降客の安全管理を行う回漕店業務を実施する。
【効果】	第一に利用者が安心、安全に利用できるような心掛けること。高齢化が進み担い手がない中、若い世代が業務に携わり島で収入を得ることが出来、地域の活性化にも繋がる。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日  
 (計画期間 1 年中 年目)

3 実施場所

高島港及び高島回漕店

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 1,510 人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わる人数： 10 人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）： 1,500 人（イ）

○団 体： (団体名) 高島自治会 , (団体名)   
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

定期便が安全に発着できるよう手助けをし、乗降客の安全確保、切符販売、荷物やメール便の集荷、公衆トイレ、回漕店周りの清掃、高齢者宅へ宅急便などの荷物を届ける。

6 予算額

1,572,000 円（うち交付金分 972,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	回漕店運営事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	972,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	600,000	
(株)三洋汽船	600,000	賃金へ充当
計	1,572,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	0	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
賃金	1,572,000	〃
	0	〃
計	1,572,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。



《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	0	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

## 《収支予算内訳書3》

## 使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

## 備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

## 賃金

内 容	金 額	積 算
回漕店業務	1,572,000	131,000円×12ヵ月
計	1,572,000	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	婆一ちやるショップ運営事業

1 目的、活動実施により期待される効果

目的	島には商店がない為、高齢化が進む中、高齢者が安心して暮らせる島づくりを目指し、笠岡市内の商店街から商品を仕入れ島民の力で商店を開く。
効果	食料品、生活用品など必要な商品が島で購入出来ることで、安心して島での生活を送ることが出来る。コロナ禍ではありますが購入時に注文者が集まり、他愛のない会話が弾むひと時です。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日  
 (計画期間 1 年中 年目)

3 実施場所

婆一ちやるショップ→高島回漕店

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 324 人（ア+イ）  
 （内訳）企画運営に関わる人数： 60 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 264 人（イ）  
 ○団 体： （団体名） 自治会 ， （団体名） 愛育委員会  
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

月2回商店を開きます。利用者が毎回注文用紙に記入、集計したものを笠岡市商店街に注文する。届いた商品は仕分けをして注文者が取りに来られます。体調の悪い方や持ち運べない商品はグリスロで届けています。

6 予算額

157,000 円（うち交付金分 157,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	婆一ちやるショップ運営事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	157,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	157,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	5,000	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	0	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
運賃	96,000	〃
運搬費	56,000	〃
計	157,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。





## 《収支予算内訳書3》

## 使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

## 備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

## 運賃

内 容	金 額	積 算
運賃	96,000	商品運搬代 1回4000円2回×12か月
計	96,000	

## 運搬費

内 容	金 額	積 算
運搬費	56,000	8,000円×7回
計	56,000	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	定期便減便対策事業

1 目的、活動実施により期待される効果

目的	定期便減便、運行時間ダイヤ改正で島民の利便性が失われるのを防ぐ為、減便対策を行い島民、島外の人たちの生活を確保する。
効果	高齢者の家族が帰省時にゆったりとした時間が持てる。また、観光客も増え島に活気が出てくる。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日  
 (計画期間 1 年中 年日)

3 実施場所

高島港から外浦港間

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 412 人（ア+イ）  
 （内訳）企画運営に関わる人数： 12 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 400 人（イ）  
 ○団 体： （団体名） 高島自治会 ， （団体名）  
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

地元で渡船業を営んでいる藪田渡船を利用して、火・水・土・日の3時高島～外浦間運行します。利用者が1時間前までに直接藪田渡船に利用の連絡をする。利用者が居ない場合は運休とします。委託料月30,000円と利用者は一人200円を藪田渡船に支払う。

6 予算額

360,000 円（うち交付金分 360,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	定期便減便対策事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	360,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	360,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	0	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
定期便減便対策	360,000	〃
	0	〃
計	360,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。



《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	0	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

## 《収支予算内訳書3》

## 使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

## 備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

## 定期便減便対策

内 容	金 額	積 算
定期便減便対策	360,000	月30,000円×12ヵ月
計	360,000	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。